

**公益財団法人世界緑茶協会**  
**令和3年度事業報告**

茶を楽しみ、その文化、歴史に触れ、茶の魅力を実感できる「茶の都しずおか」づくりの一翼を担い、世界の茶文化やお茶を楽しむ新しいスタイルを提案する事業の実施を通じ、茶のある豊かな生活の実現に寄与した。

また、静岡県及び関係団体と連携して日本茶・静岡茶の海外への普及や輸出の促進を図った。

さらに、茶業界の枠を超えた多様なメンバーから成る「Cha0I フォーラム」において、オープンイノベーションの手法による新たな茶の需要創出と生産構造の転換を支援した。

**1 茶文化に関する講座及び体験事業（公益目的事業1）**

**（1）茶文化セミナー等の開催**

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で、若い世代を中心とした新たな緑茶ファンを増やしていくため、協会 web サイトに動画チャンネルを開設するなど、日本茶に関する様々な情報を配信・公開することで、お茶を楽しむ機会の創出に努めた。

区分	期日	内容
動画配信	令和3年4月 ～令和4年3月	世界緑茶協会動画チャンネル(日本語版)及び WGTA Channel(英語版) ・煎茶の淹れ方 ・氷水出し緑茶、ロックティーの淹れ方 ・ほうじ茶のスパークリングティー ・茶がらおすすめレシピ4選 など
	令和3年 11月20日	第2回静岡まるごと移住フェア “静岡暮らしのHOW TOセミナー” ・美味しい日本茶の淹れ方

**（2）情報誌「緑茶通信」等の発行**

緑茶に関する幅広い情報を発信するため、情報誌「緑茶通信」を発行した。

発行	内容	発行部数
令和3年 9月 49号	○特集：進化するほうじ茶 ・におい嗅ぎガスクロを用いたほうじ茶の香りの解明 ・あなたの知らない「ほうじ茶」の世界 ・富士市ほうじ茶宣言～ほうじ茶を活用した新たな茶業振興 ・ほうじ茶の愉しみ ○特別寄稿 ・私の持続可能な農業 お茶作り ・お茶染め	1,000部

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○連載記事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶業研究最前線「熊本県農業研究センター茶業研究所」</li> <li>・茶関連施設紹介 茶室「香流亭」と日本庭園（愛知県）</li> <li>・全国の茶産地から「まぼろしの石鎚黒茶」（愛媛県）</li> <li>・世界茶事情「インドネシアの茶産業の現状」</li> <li>・世界緑茶協会レポート ほか</li> </ul> </li> </ul>	
令和4年 3月 50号	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特集：ニューノーマル時代の日本茶 <ul style="list-style-type: none"> <li>・モノづくりを超える「ブランドづくり」の時代へ</li> <li>・今、世界に一つだけのブレンドを</li> <li>・飲み方の変化～お茶の魅力をめぐって～</li> <li>・お茶は手段、日本文化を世界へ</li> <li>・先駆者はブレずに走り続ける</li> </ul> </li> <li>○特別寄稿 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新発見の蘭字資料</li> </ul> </li> <li>○連載記事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶業研究最前線「静岡県立大学・茶学総合研究センター」</li> <li>・茶関連施設紹介「お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな」（京都府）</li> <li>・全国の茶産地から 茶産地静岡県に「いわた茶」あり</li> <li>・世界茶事情「アラブ首長国連邦から漂う良い香り」</li> <li>・ふじのくに茶の都ミュージアム便り</li> <li>・世界緑茶協会レポート ほか</li> </ul> </li> </ul>	1,000部

### （3）静岡茶体験コーナーの運営

茶文化の普及や茶の需要拡大を図るため、「しずおか0-CHA プラザ」の静岡茶体験コーナーを運営し、お茶の楽しみ方を提案する講座等を実施した。（一部静岡県委託）。

#### ア しずおか0-CHA プラザの運営

施設規模	水の森ビル3階 67 m <sup>2</sup> 8席
開場時間	月曜～金曜（祝日、年末年始を除く）午前9時30分～午後4時30分
運営内容	茶関連書籍・資料の収集・閲覧、茶関連展示（県内茶産地の企画展示、世界緑茶コンテスト入賞茶等）、静岡県内産茶を使った淹れ方体験指導、体験講座の企画・運営

#### イ 静岡茶体験講座の企画運営

- ・本講座開催実績

テーマ	開催時期	回数
とびきりの新茶を味わおう	5月21日～6月15日	8回
夏にピッタリ 冷茶の楽しみ	7月7日～7月29日	8回
お茶の品種を知る	10月26日～11月16日	8回
個性あふれる銘茶 「ふじのくに山のお茶100選」	1月7日～2月1日	8回
世界お茶まつり2022を楽しもう	2月24日～3月7日	4回
計	5テーマ	36回

・プチ講座

テーマ	開催時期	回数
とびきりの新茶を味わおう	6月21日～7月5日	12回
夏にピッタリ 冷茶の楽しみ	8月3日～9月2日	9回
お茶の品種を知る	11月22日～12月9日	12回
「ふじのくに山のお茶100選」	2月4日～2月21日	12回
計	4テーマ	45回

## 2 世界の茶に関する情報の集積及び発信（公益目的事業2）

### （1）日本茶の輸出促進

#### ア 国際的な見本市等への参加

国際的な食品見本市へ参加し、日本茶の特徴と淹れ方、機能性等を紹介するとともに、新規需要層の開拓等を行う製茶業者の支援を行った。

名 称	Foodex Japan 2022
開催日	令和4年3月8、9、10、11日
開催場所	幕張メッセ

#### イ 日本茶輸出促進のための研修、人材育成

海外の茶販売業者等を対象に、静岡茶の魅力を生産現場で学ぶ研修プログラム“Shizuoka Tea Study Program”を製茶業者等と連携してオンライン形式で実施した。日本在住の外国人1人については従来の研修を実施した。

また、日本茶の理解を促進するため、セミナー動画(教材)を制作し専用サイト等で公開している。

##### ＜オンライン研修の実施＞

実施時期・期間	研修受入先	研修受講者	内容
令和3年9月～4年3月末	製茶業者 (4社)	米国、イタリア、ブラジル、シンガポール、スロバキア、ミャンマー、メキシコ 計7か国・24人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡茶の栽培、荒茶加工、仕上げ加工研修</li> <li>・茶品質評価法研修</li> <li>・お茶の産業、歴史、文化、機能性説明</li> <li>・日本茶の淹れ方</li> </ul>

区分	内容	備考
セミナー動画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「荒茶の製造工程」</li> <li>○「てん茶(抹茶)ができるまで」</li> <li>○「日本茶の新しい味」</li> <li>○「日本茶の認知症予防効果」 など</li> </ul>	

## (2) 世界への情報集積・発信

### ア 世界とのネットワーク形成

茶の輸出入については、国際的な枠組みで規格や基準の制定が進められている。これらに関連して農林水産省が設置した国際規格への国内審議委員会に参画するとともに、各種国際機関や海外の茶関係団体等と連携して情報収集を図った。

区 分	内 容
茶に関する国際機関等での情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ITC (国際茶委員会) 及び FAO-IGG on Tea (国連世界食糧農業機関「茶に関する政府間グループ会議」) における茶の輸出入の規制や生産、貿易に関する情報の収集、国際的課題の調査。</li> <li>・ ISO (国際標準化機構) TC34/SC8 (食品部会/茶専門分科会) における日本(農水省)の国内審議団体への参画、意見調整、ISO 事務局への投票業務。</li> </ul>
各国の茶関連団体との交流、情報交換	<p>茶に関連する海外の団体 (全米茶協会、カナダ茶・ハーブ協会等) や個人を対象に特別会員制度を設け、情報収集と発信を行った。</p> <p>&lt;海外特別会員の状況 (令和3年3月)&gt;</p> <p>18 か国・地域、29 者・団体：</p> <p>中国 2、韓国 2、台湾 4、米国 5、英国 2、イタリア 2、カナダ、ドイツ、ロシア、スイス、アルゼンチン、コロンビア、ブラジル、シンガポール、ネパール、マレーシア、UAE、バーレーン 各 1</p>

### イ O-CHA ネット、会員制情報共有サイトを活用した情報集積と発信

公式ウェブサイト「O-CHA ネット」や、ソーシャルネットワーキングサービス (Facebook) 等を活用し、情報発信を図った。

媒 体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公式ホームページ「O-CHA ネット」(日英)</li> <li>・ 賛助会員向けメールマガジン : 計 13 回発行</li> <li>・ Facebook (多言語発信) : 情報提供 131 件</li> <li>・ Instagram (多言語配信) : 情報提供 126 件</li> </ul>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本茶に関する基礎知識、専門知識</li> <li>・ 茶の機能・効能に関する研究成果情報</li> <li>・ 国内外の茶に関するニュースや生産・消費等の状況</li> <li>・ 国際見本市や輸出関連展示会等に関する情報</li> <li>・ 協会やその他関連団体が開催する茶関連イベント、行事に関する情報</li> </ul>

### (3) 世界緑茶コンテストの開催

#### ア 世界緑茶コンテスト 2021 の開催

新しいコンセプトを持ち、創造性に満ちた魅力あるお茶の商品を提案するコンテストを開催した。

募集期間	令和3年4月～6月30日
審査会	令和3年8月18～19日 ふじのくに茶の都ミュージアム（島田市金谷）
出品点数	日本40点、海外39点 計79点
審査結果	最高金賞13点、金賞23点、フロンティア賞1点
展示紹介等	・Foodex Japan 2022（幕張メッセ、令和4年3月8日～11日） ・公式サイト「O-CHA ネット」に掲載、しずおかO-CHA プラザ展示等

#### イ 海外品評会への出品支援

日本茶の国際的な評価を高めるため、中国で行われた国際名茶品評会への日本国内の出品取りまとめと、審査会の分担支援を行った。

募集期間	令和3年4月～6月4日（受付6月1～4日）
審査会	令和3年6月24日 中国青島・杭州、台北、日本菊川、韓国河東
出品点数	681点（うち日本23点）
参加国・地域	中国、台湾、日本、韓国
日本茶の審査結果	世界名茶大賞1点、金賞14点、銀賞2点、優質産品賞4点
受賞紹介	公式サイト「O-CHA ネット」に掲載 ほか

### (4) O-CHAパイオニア顕彰

茶にかかわる学術研究や産業技術、国際交流等の優れた成果について、6件の取組を顕彰した。

募集期間	令和3年10月～令和4年1月5日
選考委員会	令和4年2月15日

<受賞者・団体>

部門	受賞者・団体	受賞タイトル
学術研究大賞	一家 崇志(静岡大学学術院農学領域准教授)	茶の次世代育種法の構築及び栄養生理学に関する研究
産業技術・商品開発大賞	角川 修 (国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門/茶業研究監)	国際標準化活動を通じた日本茶の国際的な普及への貢献
文化・芸術大賞	一般財団法人 齋田茶文化振興財団 齋田記念館(館長/齋田友紀子)	齋田記念館を通じた日本茶の魅力と文化・歴史の発信
O-CHA 特別大賞	藤原 一輝(合同会社コミュニティデザイン工房/代表)	「地紅茶」という新しい名称及び分野を創造し国産紅茶普及に貢献
CHALLENGE 賞	石部 健太朗 (錦園石部商店/代表)	新たな観点からの精力的な日本茶普及活動
CHALLENGE 賞	Hannah Habes (MATCHAFUL/創業者)	抹茶に魅せられた米国人女性 ニューヨークの抹茶カフェ「MATCHAFUL」創業者

(5) Cha0I フォーラム運営支援

静岡茶の新たな価値の創造を目指して、茶業界の枠を超えた幅広い技術・アイデアを活用した新たな需要創出のための相談・助言、マッチング等の支援をおこなった。  
(静岡県委託事業)

項目	概要
Cha0I フォーラム事務局窓口の体制整備	茶及び関連産業分野における専門家等 5 名を任用し、静岡県茶業研究センター内に開設したフォーラム事務局窓口に常時駐在する体制を整備した。 (コーディネーター3名及び事務職員2名の5名体制)
会員の状況	茶生産者、茶商、メーカー、食品事業者等 555 会員 (令和4年3月31日現在)

相談・助言、マッチング等の支援状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談等件数 延べ 4,007 件(令和 3 年 4 月～4 年 3 月)</li> <li>・分科会等開催 4 回 参加者数 597 人</li> <li>・ChaOI プロジェクト推進事業採択件数 52 件</li> </ul>
-------------------	---

<分科会等の開催実績>

期日	内容	参加者
令和 3 年 8 月 30 日	「新たな需要を喚起する品種茶(つゆひかり)を活かすセミナー」 講師：茶研センター研究員、会員(茶商・生産者)	80 人
9 月 6 日	「緑茶と新型コロナウイルス研究のシンポジウム」 講師：京都府立医科大学松田教授、茶研センター統括監	389 人
11 月 15 日	「国産新香味茶のニーズを探る」セミナー 講師：ChaOI フォーラム事務局、会員生産者等	52 人
令和 4 年 2 月 4 日	「有機栽培茶の品質向上と生産力安定化」セミナー 講師：茶研センター研究員、会員生産者等	76 人

### 3 ウェブサイトバナー広告

お茶の総合情報サイトである公式ホームページ「O-CHA ネット」において、お茶関連事業者(当協会会員)の広告を掲載することによりホームページを充実させて需用者の便宜を図るとともに、当協会ホームページを中心にしたネットワークの構築をすすめた。

---

#### 令和 3 年度事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項及び定款第 12 条に規定する事業報告附属明細書の作成にかかる事項はありません。

# 貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	11,812,225	12,664,887	-852,662
普通預金	11,812,225	12,664,887	-852,662
スルガ銀行 静岡南支店 普通2173142	7,455,997	10,475,185	-3,019,188
静岡銀行 駅南支店 普通763138	841,654	346,648	495,006
ゆうちょ銀行 00860-3-166641	3,514,574	1,843,054	1,671,520
未収金	1,631,684	1,997,447	-365,763
流動資産合計	13,443,909	14,662,334	-1,218,425
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	386,490,134	386,995,140	-505,006
投資有価証券(指定)	386,490,134	386,995,140	-505,006
定期預金(基)	6,509,866	6,004,860	505,006
基本財産合計	393,000,000	393,000,000	
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,300,000	2,100,000	200,000
退職給付引当資産(一般)	2,300,000	2,100,000	200,000
特定費用準備金資産	3,000,000	1,500,000	1,500,000
特定資産合計	5,300,000	3,600,000	1,700,000
(3) その他固定資産			
固定資産合計	398,300,000	396,600,000	1,700,000
資産の部合計	411,743,909	411,262,334	481,575
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	4,887,607	3,627,527	1,260,080
前受金	215,000	447,800	-232,800
預り金	322,675	264,202	58,473
送料	575	295	280
厚生年金預り	200,385	161,955	38,430
健康保険料預り	121,715	101,952	19,763
賞与引当金	990,000	990,000	
流動負債合計	6,415,282	5,329,529	1,085,753
2 固定負債			
退職給付引当金	2,300,000	2,100,000	200,000
固定負債合計	2,300,000	2,100,000	200,000
負債の部合計	8,715,282	7,429,529	1,285,753
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
寄付金	200,000,000	200,000,000	
有価証券(財)	193,000,000	193,000,000	
指定正味財産合計	393,000,000	393,000,000	
(うち基本財産への充当額)	( 393,000,000)	( 393,000,000)	( )
2 一般正味財産	10,028,627	10,832,805	-804,178
正味財産の部合計	403,028,627	403,832,805	-804,178
負債及び正味財産合計	411,743,909	411,262,334	481,575



# 正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産の運用収入	6,840,413	6,840,560	-147
特定資産運用益			
特定資産受取利息	19	18	1
受取会費			
会費収益	8,650,000	9,250,000	-600,000
事業収益			
受講料等収益	103,568	119,600	-16,032
情報誌発行収益	175,700	121,100	54,600
出展負担金等収益	300,100		300,100
世界緑茶コンテスト出品料	1,328,085	1,098,566	229,519
世界緑茶コンテスト出品料	853,085	1,098,566	-245,481
国際名茶品評会出品料	475,000		475,000
パナ-広告収益	500,000	500,000	
受取補助金等			
補助金収益	5,429,000	5,429,000	
委託費収益	33,714,750	26,981,855	6,732,895
受取寄付金			
受取寄付金	2,000,000	2,000,000	
雑収益			
受取利息	277	260	17
経常収益合計	59,041,912	52,340,959	6,700,953
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	4,242,000	4,242,000	
給料手当	27,879,781	18,442,925	9,436,856
臨時雇賃金	2,097,216	2,170,334	-73,118
退職給付費用	185,000	185,000	
福利厚生費	6,070,340	4,147,619	1,922,721
会議費	4,400		4,400
旅費交通費	1,450,055	1,096,161	353,894
通信運搬費	942,460	1,189,789	-247,329
消耗什器備品費	361,275	1,498,063	-1,136,788
消耗品費	1,557,299	2,032,981	-475,682
印刷製本費	166,608	200,661	-34,053
賃借料	3,499,980	4,289,788	-789,808
保険料	29,820	30,320	-500
諸謝金	896,944	956,849	-59,905
租税公課	1,661,100	24,000	1,637,100
支払負担金	673,452	376,734	296,718
委託費	2,017,400	1,967,350	50,050
広告宣伝費	50,600	110,000	-59,400
手数料	2,687,614	1,663,677	1,023,937
管理費			
役員報酬	750,000	750,000	
給料手当	834,000	830,000	4,000
退職給付費用	15,000	15,000	
福利厚生費	448,690	455,179	-6,489
会議費	13,100	7,600	5,500
旅費交通費	105,040	83,820	21,220
通信運搬費	844	1,902	-1,058

# 正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
消耗品費	10,150	5,200	4,950
印刷製本費	6,160	6,160	
光熱水料費	98,899	98,520	379
賃借料	12,024	12,024	
諸謝金		22,000	-22,000
租税公課	1,650	2,950	-1,300
支払負担金	150,000	150,000	
委託費	832,700	832,700	
手数料	23,489	25,065	-1,576
経常費用合計	59,775,090	47,922,371	11,852,719
評価損益等調整前当期経常増減額	-733,178	4,418,588	-5,151,766
評価損益等計			
当期経常増減額	-733,178	4,418,588	-5,151,766
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計			
(2) 経常外費用			
経常外費用合計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	-733,178	4,418,588	-5,151,766
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	
当期一般正味財産増減額	-804,178	4,347,588	-5,151,766
一般正味財産期首残高	10,832,805	6,485,217	4,347,588
一般正味財産期末残高	10,028,627	10,832,805	-804,178
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額			
指定正味財産期首残高	393,000,000	393,000,000	
指定正味財産期末残高	393,000,000	393,000,000	
III 正味財産期末残高	403,028,627	403,832,805	-804,178

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	3,420,207	3,420,207	0	0	3,420,206	0	6,840,413
基本財産の運用収入			3,420,207	3,420,207			3,420,206		6,840,413
特定資産受取利息							19		19
特定資産受取利息							19		19
受取会費	0	0	8,650,000	8,650,000	0	0	0	0	8,650,000
会費収入			8,650,000	8,650,000					8,650,000
事業収益	279,268	1,628,185		1,907,453	500,000	500,000	0	0	2,407,453
受講料収入	103,568			103,568			0		103,568
情報誌発行収入	175,700			175,700			0		175,700
出展負担金等収入		300,100		300,100			0		300,100
世界緑茶コンテスト出品料		1,328,085		1,328,085			0		1,328,085
バナー広告収入				0	500,000	500,000			500,000
受取補助金等	2,423,255	36,720,495	0	39,143,750	0	0	0	0	39,143,750
委託費収入	2,423,255	31,291,495		33,714,750			0		33,714,750
補助金収入		5,429,000		5,429,000			0		5,429,000
助成金収入									0
受取負担金		0		0					0
受取寄付金	0	0	2,000,000	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000
茶取引安定協会特定寄附			2,000,000	2,000,000			0		2,000,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	277	0	277
受取利息				0			277		277
雑収益	0			0			0		0
<b>経常収益計</b>	<b>2,702,523</b>	<b>38,348,680</b>	<b>14,070,207</b>	<b>55,121,410</b>	<b>500,000</b>	<b>500,000</b>	<b>3,420,502</b>	<b>0</b>	<b>59,041,912</b>

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計			
(2) 経常費用									
事業費	10,186,889	46,273,455	0	56,460,344	13,000	13,000		0	56,473,344
役員報酬	1,271,700	2,967,300		4,239,000	3,000	3,000			4,242,000
給料手当	2,681,334	25,194,447		27,875,781	4,000	4,000			27,879,781
臨時雇賃金	2,065,716	31,500		2,097,216		0			2,097,216
退職給付費用	55,000	130,000		185,000		0			185,000
福利厚生費	1,014,932	5,053,408		6,068,340	2,000	2,000			6,070,340
旅費交通費	112,662	1,337,393		1,450,055		0			1,450,055
通信運搬費	245,012	697,448		942,460		0			942,460
減価償却費				0		0			0
消耗什器備品費	60,573	300,702		361,275		0			361,275
消耗品費	447,283	1,110,016		1,557,299		0			1,557,299
会議費		4,400		4,400		0			4,400
印刷製本費	21,360	145,248		166,608		0			166,608
光熱水料費				0		0			0
賃借料	5,940	3,494,040		3,499,980		0			3,499,980
保険料	29,820			29,820		0			29,820
諸謝金	225,149	671,795		896,944		0			896,944
租税公課	145,261	1,515,839		1,661,100		0			1,661,100
支払負担金		673,452		673,452		0			673,452
委託費	1,364,000	649,400		2,013,400	4,000	4,000			2,017,400
広告宣伝費		50,600		50,600		0			50,600
手数料	441,147	2,246,467		2,687,614		0			2,687,614
管理費							3,301,746	0	3,301,746
役員報酬							750,000		750,000
給料手当							834,000		834,000
退職給付金支出							15,000		15,000
福利厚生費							448,690		448,690
会議費							13,100		13,100
旅費交通費							105,040		105,040
通信運搬費							844		844
消耗什器備品費									0
消耗品費							10,150		10,150
減価償却費									0
印刷製本費							6,160		6,160
光熱水料費							98,899		98,899
賃借料							12,024		12,024
諸謝金									0
租税公課							1,650		1,650
支払負担金							150,000		150,000
委託費							832,700		832,700
手数料							23,489		23,489
雑費									0
<b>経常費用計</b>	<b>10,186,889</b>	<b>46,273,455</b>	<b>0</b>	<b>56,460,344</b>	<b>13,000</b>	<b>13,000</b>	<b>3,301,746</b>	<b>0</b>	<b>59,775,090</b>

公益財団法人世界緑茶協会 正味財産増減計算書の内訳表

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	共通	小計	収1	小計			
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,484,366	△ 7,924,775	14,070,207	△ 1,338,934	487,000	487,000	118,756	0	△ 733,178
基本財産評価損益等				0		0			0
特定資産評価損益等				0		0			0
投資有価証券評価損益等				0		0			0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,484,366	△ 7,924,775	14,070,207	△ 1,338,934	487,000	487,000	118,756	0	△ 733,178
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
中科目別記載				0		0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
中科目別記載				0			0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税、市民税及び事業税							71,000		71,000
他会計振替額			243,120	243,120	△ 3,121,317	△ 3,121,317	2,878,197		0
当期一般正味財産増減額	△ 7,484,366	△ 7,924,775	14,313,327	△ 1,095,814	△ 2,634,317	△ 2,634,317	2,925,953	0	△ 804,178
一般正味財産期首残高	△ 49,760,772	△ 67,060,766	129,067,937	12,246,399	2,634,317	2,634,317	△ 4,047,911	0	10,832,805
一般正味財産期末残高	△ 57,245,138	△ 74,985,541	143,381,264	11,150,585	0	0	△ 1,121,958	0	10,028,627
II 指定正味財産増減の部									
受取補助金等				0		0			0
一般正味財産への振替額				0		0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			196,500,000	196,500,000		0	196,500,000		393,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	196,500,000	196,500,000	0	0	196,500,000	0	393,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>△ 57,245,138</b>	<b>△ 74,985,541</b>	<b>339,881,264</b>	<b>207,850,585</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>195,378,042</b>	<b>0</b>	<b>403,028,627</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

職員の賞与金の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。

② 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

・ファイナンス・リース取引

リース物件の所有者が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金				
定期預金	6,004,860	505,006		6,509,866
有価証券	386,995,140		505,006	386,490,134
小計	393,000,000	505,006	505,006	393,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	2,100,000	200,000		2,300,000
特定費用準備資金	1,500,000	1,500,000		3,000,000
小計	3,600,000	1,700,000		5,300,000
合計	396,600,000	2,205,006	505,006	398,300,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
定期預金	6,509,866	(6,509,866)		
有価証券	386,490,134	(386,490,134)		
小計	393,000,000	(393,000,000)		
特定資産				
退職給付引当資産	2,300,000			(2,300,000)
特定費用準備資金	3,000,000			(3,000,000)
小計	5,300,000			(5,300,000)
合計	398,300,000	(393,000,000)		(5,300,000)

特定資産の利息については一般収入に繰り入れるものとする。

### 4. 担保に供している資産

なし

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
11 30年国債	218,893,620	260,392,500	41,498,880
111 20年国債	167,596,514	183,984,000	16,387,486
合 計	386,490,134	444,376,500	57,886,366

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
新・静岡茶グローバル戦略推進 事業費補助金	静岡県	0	5,429,000	5,429,000	0	一般正味財産
合 計		0	5,429,000	5,429,000	0	

7. 指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般財産への振替額の内訳

当該事業年度末までに目的たる支出を行うことが予定されている補助金等を受け入れた場合には、その受入額を受取補助金等として一般正味財産増減の部に記載できることから、当公益法人は一般正味財産へ記載をしている。

8. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

属性	法人等の 名称	住所	資産総額	事業 の内容 または 職業	議決 権の 所有 割合	関係内容		取引の内 容	取引金額	科目	期末残高
						役員 の兼 務等	事業 上の 関係				
支配 法人	静岡県	静岡市 葵区	—	地方 自治 体	—	理事1 名 監事1 名	業務 の受 入れ	補助金受入 受託金受入	5,429,000 33,714,750	補助金収入 委託費収入	0 0

9. ファイナンス・リース取引関係

(1)リース物件の取得価額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位:円)

	取得価額相当額	減価償却累計額相当額	期末残高相当額
什器備品	582,120	355,740	226,380

(2)未経過リース料期末残高相当額

(単位:円)

	1年以内	1年超	合計
未経過リース料期末残高相当額	194,040	32,340	226,380

(3)当期の支払いリース料、減価償却費相当額及び支払い利息相当額

(単位:円)

支払リース料	減価償却費相当額	支払い利息相当額
194,040	194,040	0

(4)減価償却費相当額の算定方法は、リース期間定額法によっている。

(5)重要性の乏しい所有権移転外ファイナンス・リース取引に該当するため、リース料総額から利息相当額を控除しないで計上する方法を採用している。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定財産の明細

財務諸表に対する注記の2に記載している。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	990,000	990,000	990,000		990,000
退職引当金	2,100,000	200,000			2,300,000



# 財 産 目 録

令和 4年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金 普通預金 スルガ銀行 静岡南支店 普通2173142 静岡銀行 駅南支店 普通763138 ゆうちょ銀行 00860-3-166641 未収金		運転資金として 運転資金として 運転資金として 補助金収入等	11,812,225 11,812,225 7,455,997 841,654 3,514,574 1,631,684
流動資産合計				13,443,909
(固定資産)	基本財産 投資有価証券 投資有価証券(指定)		11 30年国債 218,893,620円 111 20年国債 167,596,514円	386,490,134 386,490,134
特定資産	定期預金(基)	スルガ銀行 静岡南支店 定期15561814		6,509,866
	退職給付引当資産 退職給付引当資産(一般)	スルガ銀行 静岡南支店 普通2477718	職員の退職金の支払に備えたもの	2,300,000 2,300,000
その他固定資産	特定費用準備金資産	スルガ銀行 静岡南支店 普通3453573	世界緑茶会議開催準備資金	3,000,000
固定資産合計				398,300,000
資産合計				411,743,909
(流動負債)	未払金 前受金 預り金 送料 厚生年金預り 健康保険料預り 賞与引当金		委託費等 R4年度会費等 機関紙送料の預かり分 職員の賞与の支払に備えたもの	4,887,607 215,000 322,675 575 200,385 121,715 990,000
流動負債合計				6,415,282
(固定負債)	退職給付引当金		職員の退職金の支払に備えたもの	2,300,000
固定負債合計				2,300,000
負債合計				8,715,282
正味財産				403,028,627

# 監査報告書


公益財団法人世界緑茶協会  
会長 川勝 平太 殿

令和 4年 5月27日

公益財団法人世界緑茶協会

監事 細谷 勝彦 

公益財団法人世界緑茶協会

監事 稲葉 光 

私たち監事は、当協会の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、以下のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他会議に出席し、理事及び使用人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録等について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び正味財産増減の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。